

2025年1月15日

株式会社電通デジタル
三井住友海上火災保険株式会社

～データ分析者とビジネス現場の橋渡し役を担う「ビジネストランスレーター」を育成～
「ビジネスに役立つデータ人材育成プログラム」を提供開始

株式会社電通デジタル(本社:東京都港区 代表取締役社長執行役員:瀧本 恒 以下、電通デジタル)とMS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:船曳 真一郎 以下、三井住友海上)は、データ分析者とビジネス現場の橋渡し役を担うビジネストランスレーターを育成する「ビジネスに役立つデータ人材育成プログラム」を開発し、本日より企業向けに提供開始します。

両社は、マーケティングやデータ活用の高度化に必要な人材育成を支援することで、企業の事業成長に貢献していきます。

1. 背景

昨今、社会のデジタル化の進展により、企業には、マーケティング施策におけるデータ活用やデータに基づく事業戦略が一層求められています。これを受け、データ分析者とビジネス現場の橋渡し役として分析・仮説立案を行い、両者とコミュニケーションを図りながら自社の課題解決を目指すビジネストランスレーターの役割に注目が集まっています。そこで、両社がこれまでに築いた知見や専門性を生かし、データに基づくビジネススキルを習得するためのEラーニングによる教育プログラムを開発しました。

<両社の強み>

電通デジタル	・マーケティング領域におけるデータ活用を通じたビジネス変革の知見や実績
三井住友海上	・データ活用人材の育成・内製化に関する知見や実績 ・データ分析プロジェクトを成功に導く「5Dフレームワーク」を提唱

2. プログラム概要

学習形式	動画視聴を中心としたEラーニング
所要期間	週1時間程度、約3か月間
全体像	5Dフレームワークをベースに、以下3ステップごとの学びを提供。 ・分析の前工程：課題の設計・プロジェクト管理 ・分析の実行：データの準備、分析手法の検討、分析環境の構築 ・分析の後工程：ビジネスへの活用
販売対象	企業向け(原則3人以上)
販売価格	利用者1人あたり4万円(税別)
紹介サイト	https://www.dentsudigital.co.jp/services/transformation/org-dev/data-talent-program



3. 特長

(1) データ分析・マーケティングの基礎知識の習得

データ分析だけでなくマーケティングの知識も身に付けることで、データ活用とビジネスの両輪で業務を遂行することができるようになります。

(2) 5Dフレームワークの考え方の習得

データ分析に必要なステップで、「Demand（問題や要求の明確化）」「Design（仮説を立てて分析課題に落とし込む）」「Data（課題解決に必要なデータの準備）」「Develop（分析）」「Deploy（分析結果をビジネス活用へ展開）」という「5つのD」で構成されています。このフレームワークにより、課題の発見、分析、ビジネスへの活用までの幅広い領域を効率よく実行できるようになります。

Demand	Design	Data	Develop	Deploy
問題や要求を 明確化する	問題から仮説を 立て分析課題に 落とし込む	課題解決に 必要なデータを 準備する	課題解決に 必要な 分析を行う	分析結果を ビジネス活用へ 繋げて展開する

また、ビジネストランスレーターとして「データ分析」と「ビジネス」2つの視点で課題を捉える視座を高め、ビジネス課題を整理してデータ分析者に「橋渡し」をする能力と、分析結果をビジネス現場が理解できるように「翻訳」する能力を習得することができます。

■ご参考：電通デジタルオウンドメディア「Knowledge Charge」

「データ分析とビジネスをつなげる『ビジネストランスレーター』を育成する三井住友海上火災保険と電通デジタルが共同開発したプログラムとは？」

<https://www.dentsudigital.co.jp/knowledge-charge/articles/2025/2025-0115-ms>

以 上